

教科・科目	対象学年	単位数	教科書（発行者）	補助教材（発行者）
音楽・器楽(ピアノ)	2年 (音楽コース)	2		ハノン教則本 No.39(スケール) ※発行者の指定はなし 曲は各自の進度に応じて
科目の概要と目標	ピアノ演奏に必要なテクニックを身につけ、ピアノという媒体を通して各自の個性や音楽性を発揮する、より高度な音楽表現を目指す。			
授業の進め方	年間を通じて個人レッスンの形態で行う。グレード別に設定されたスケール基礎訓練と並行して、各自の進度に合わせたバッハ作品、古典派のソナタ、ロマン派や近・現代の作品に取り組む。各自に与えられた課題を複数曲同時進行するので、練習時間の確保が鍵である。まず、よくさい、意欲的且つ素直な気持ちでレッスンに臨むことが大切である。			
評価の観点と方法	学期毎の実技試験では「スケール」「バッハ課題」「自由曲」を演奏する。「バッハ課題」「自由曲」の合計点が評価となり、「スケール」は、再試験を課し、合格するまで繰り返し受験する。 楽器演奏上の技術だけでなく、音楽の構造への理解、音楽的な解釈の妥当性、曲の完成度、本人が音楽的に表現しようとしているか等を評価する。			

	学期	単元・学習項目	学習内容・到達度目標
年間 の 授 業 内 容	1 学 期	スケール課題 グレードA：調号2つまでの dur B：調号3つまでの dur C：調号4つまでの dur D：すべての dur 各自の選択曲	[内容] ・演奏テクニックの向上 ・楽曲の分析 ・音楽的表現の習得 [到達度目標] ・ピアノ演奏に必要なテクニックを身につける。 ・楽曲の構造を理解し、演奏に反映させる。 ・各自の音楽性を演奏に生かし、より高度な表現を目指す。
	2 学 期	スケール課題 グレードA：調号3つまでの dur, moll B：調号3つまでの dur, moll C：調号4つまでの dur, moll D：全調 各自の選択曲	
	3 学 期	スケール課題 グレードA：調号4つまでの dur, moll B：調号4つまでの dur, moll C：調号5つまでの dur, moll D：全調 各自の選択曲	